

GA-K8VM800M / GA-K8VM800M-RH

AMD ソケット 754 プロセッサマザーボード

ユーザーズマニュアル

改版 2004



- * 製品の WEEE マークは、この製品を他の家庭ゴミと共に廃棄することを禁じ、廃棄電気電子機器のリサイクルのための指定収集場所に引き渡す必要を示しています！！
- * WEEE マークは EU 加盟国のみに適用されます。

目次

第 1 章 ハードウェアのインストール	3
1-1 取り付け前に	3
1-2 特長の概略	4
1-3 CPUとヒートシンクの取り付け	6
1-3-1 CPUの取り付け	6
1-3-2 ヒートシンクの取り付け	7
1-4 メモリの取り付け	8
1-5 拡張カードのインストール	9
1-6 I/O後部パネルの紹介	10
1-7 コネクタについて	11

第1章 ハードウェアのインストール

1-1 取り付け前に

コンピュータを用意する

マザーボードには、静電放電(ESD)により損傷を受ける、様々な精密電子回路および装置が搭載されていますので、取り付け前に、以下をよくお読みください。

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. マザーボードを取り扱う際は、金属部またはコネクタに触れないでください。
3. 電子部品(CPU、RAM)を取り扱う際は、静電防止用(ESD)ストラップを着用してください。
4. 電子部品を取り付ける前に、電子部品を静電防止パッドの上、または静電シールドコンテナ内に置いてください。
5. マザーボードから電源コネクタのプラグを抜く前に、電源が切断されていることを確認してください。

取り付け時のご注意

1. 取り付ける前に、マザーボードに貼布されているステッカーを剥がさないでください。これらのステッカーは、保証の確認に必要となります。
2. マザーボード、またはハードウェアを取り付ける前に、必ず、マニュアルをよくお読みください。
3. 製品を使用する前に、すべてのケーブルと電源コネクタが接続されていることを確認してください。
4. マザーボードへの損傷を防ぐため、ネジをマザーボード回路、またはその機器装置に接触させないでください。
5. マザーボードの上、またはコンピュータケースの中に、ねじ或いは金属部品を残さないようにしてください。
6. コンピュータを不安定な場所に置かないでください。
7. 取り付け中にコンピュータの電源を入れると、システムコンポーネントまたは人体への損傷に繋がる恐れがあります。
8. 取り付け手順や製品の使用に関する疑問がある場合は、公認のコンピュータ技師にご相談ください。

保証対象外

1. 天災地変、事故又はお客様の責任により生じた破損。
2. ユーザマニュアルに記載された注意事項に違反したことによる破損。
3. 不適切な取り付けによる破損。
4. 認定外コンポーネントの使用による破損。
5. 許容パラメータを超える使用による破損。
6. Gigabyte 製品以外の製品使用による破損。

1-2 特長の概略

CPU	◆ AMD Athlon™ 64プロセッサ(K8)搭載用のSocket 754 ◆ 1600MHzシステムバス ◆ 3000+以上のコアクロックをサポート
チップセット	◆ ノースブリッジ: VIA K8M800 ◆ サウスブリッジ: VIA VT8237R / VT8237R+
メモリ	◆ 2 DDR DIMMメモリスロット(最大2GBのメモリをサポート) ◆ DDR 400^(注1)/333/266/200 DIMMをサポート ◆ 2.5V DDR DIMMをサポート
スロット	◆ 1個のAGPスロット ◆ 3個のPCIスロット
IDE 接続	◆ 2つのIDE接続(UDMA 33/ATA 66/ATA 100/ATA 133)で、4台のIDEデバイスに接続可能
FDD 接続	◆ 1つのFDD接続で、2台のFDDデバイスに接続可能
オンボード SATA	◆ 2つのシリアルATAコネクタ ^(注2)
周辺装置	◆ 1個の平行ポートで通常/EPP/ECPモードをサポート ◆ 1個のシリアルポート(COMA)、1個のVGAポート、オンボードCOMB接続 ◆ 8個のUSB 2.0/1.1ポート(後部x 4、前部x 4ケーブル経由) ◆ 1個のフロントオーディオコネクタ ◆ 1個のIRコネクタ ◆ 1個のPS/2キーボードポート ◆ 1個のPS/2マウスポート
オンボード VGA	◆ 内蔵VIA K8M800チップセット
Onboard LAN	◆ オンボードVIA 6103Lチップ(10/100 Mbit) ◆ 1個のRJ45ポート
オンボードオーディオ	◆ Realtek ALC655 CODEC ◆ Line入力をサポート: Line出力: マイク入力 ◆ 2 / 4 / 6チャンネルオーディオをサポート ◆ SPDIF入/出力接続 ◆ CD入力接続
I/O コントロール	◆ IT8705

(注 1) CPU の制限のため、DDR400 メモリモジュールをシステムに取り付ける場合は、1 枚のダブルサイド或いは 2 枚のシングルサイドの DDR400 メモリモジュールを取り付けてください。2 枚のダブルサイド DDR400 メモリモジュールを取り付けると、DDR400 の速度が DDR333 に低下します。

(注 2) SATA(1.5Gb/s)ハードディスクの使用がおすすめです。

オンボード SATA RAID	◆ 内蔵VIA VT8237R / VT8237R+ ◆ ディスクストライピング(RAID0)またはディスクのミラーリング(RAID1)をサポート ◆ 最大150 MB/秒のUDMAをサポート ◆ 最大2台のSATAデバイスをサポート
ハードウェアモニタ	◆ システム電圧検出 ◆ CPU温度検出 ◆ CPU/システムファン速度検出 ◆ CPUファン故障警告
BIOS	◆ ライセンス済みAWARD BIOSの使用 ◆ Q-Flashをサポート
その他の機能	◆ @BIOSをサポート ◆ EasyTune^(注3)をサポート
オーバークロック	◆ BIOSによるオーバークロック(CPU) ◆ BIOSによるオーバー電圧(CPU/AGP)
フォームファクター	◆ Micro ATXフォームファクタ: 22.0cm x 24.4cm

日本語

(注 3) EasyTune 機能はマザーボード毎に異なる場合があります。

1-3 CPU とヒートシンクの取り付け



CPU を取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1. マザーボードが CPU をサポートすることを確認してください。
2. CPU の刻み目のある角に注目してください。CPU を間違った方向に取り付けると、適切に装着することが出来ません。装着できない場合は、CPU の挿入方向を変えてください。
3. CPU とヒートシンクの間にヒートシンクペーストを均等に塗布してください。
4. CPU のオーバーヒートおよび永久的損傷が生じないように、システムを使用する前に、ヒートシンクが CPU に適切に取り付けられていることを確認してください。
5. プロセッサ仕様に従い、CPU ホスト周波数を設定してください。周辺機器の標準規格に適合しないため、システムバス周波数をハードウェア仕様以上に設定しないことをお勧めします。仕様以上に周波数を設定する場合は、CPU、グラフィックスカード、メモリ、ハードドライブ等を含むハードウェア仕様に従って設定してください。

1-3-1 CPU の取り付け

プロセッサのピンが曲がっていないことをご確認ください。プロセッサの装着前に、図 1 にあるようにソケットレバーをロック解除位置に移動します。プロセッサを取り付ける前に(マザーボードの面に対して 90°)。ピン 1 位置はプロセッサの銅色の三角マークの位置とソケットの三角マークの位置が一致するよう図 2 のように表示されています。プロセッサをソケットに合わせ静かに置きます。プロセッサを無理にソケットに押し込まないでください。

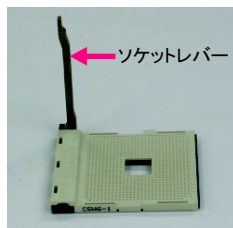


図 1
レバーを 90 度角に配置します。

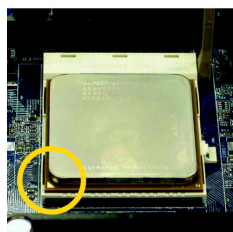


図 2
ソケット及びプロセッサ上のピン 1 の位置。
CPU ピンが対応する穴に完全に合うように、CPU を静かに配置します。CPU がソケットに配置されたら、一本の指を CPU 中央に添え、金属レバーを静かに押して、元の位置に戻します。



CPU 取り付け時には細心の注意を払ってください。配置が正しくない場合、CPU を取り付けることは出来ません。力任せではなく、CPU 位置を変更してください。

1-3-2 ヒートシンクの取り付け

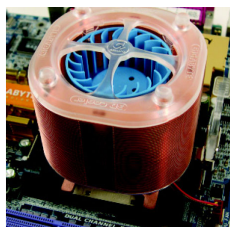


図 1
ヒートシンク取り付け前に、CPU 表面にヒートシンクペーストを均一に塗布します。すべてのヒートシンク部品を取り付けてください (取り付け方法の詳細はヒートシンクのマニュアルを参照してください)。

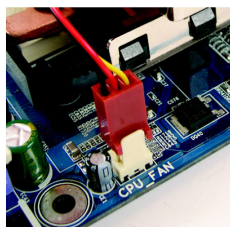


図 2
ヒートシンクの電源コネクタをマザーボード上の CPU_FAN コネクタに接続し、ヒートシンクを正常に動作させ、CPU の過熱を防止します。



ヒートシンクペーストの硬化により、ヒートシンクが CPU に付着する場合があります。付着を防止するには、ヒートシンクペーストの代わりにサーマルテープを使用し、熱を発散させるか、またはヒートシンクを取外す際は慎重に行ってください。

1-4 メモリの取り付け



メモリモジュールを取り付ける前に、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のメモリがマザーボードにサポートされているかどうかを確認してください。同様の容量、仕様、同メーカーのメモリをご使用することをお勧めします。
2. ハードウェアへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの取り付け/取り外し前に、コンピュータの電源を切ってください。
3. メモリモジュールは、きわめて簡単な挿入設計となっています。メモリモジュールは、一方向のみに取り付けることができます。モジュールを挿入できない場合は、方向を換えて挿入してください。

マザーボードは、DDR メモリモジュールをサポートし、BIOS は自動的にメモリ容量と仕様を検出します。メモリモジュールは、一方向のみに挿入するように設計されています。各スロットには異なる容量のメモリを使用できます。

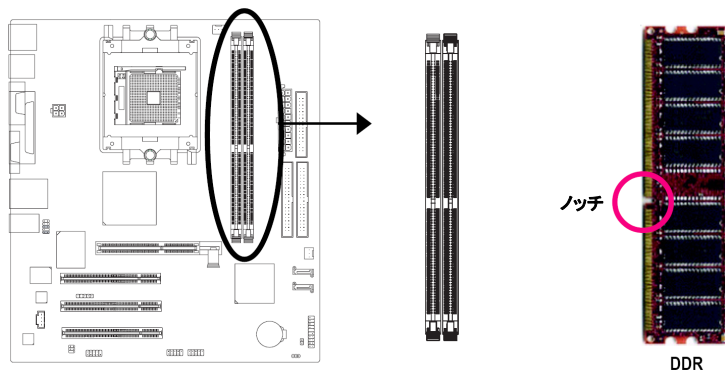


図 1
DIMM ソケットにはノッチがあり、DIMM メモリモジュールは一方向のみに挿入する必要があります。DIMM メモリモジュールを DIMM ソケットに垂直に挿入し、押し下げてください。



図 2
DIMM ソケットの両側にあるプラスチックのクリップを閉じて、DIMM モジュールを固定します。
DIMM モジュールを取り外すにはインストールと逆の手順で行います。

1-5 拡張カードのインストール

以下の手順に従い、拡張カードを取り付けてください。

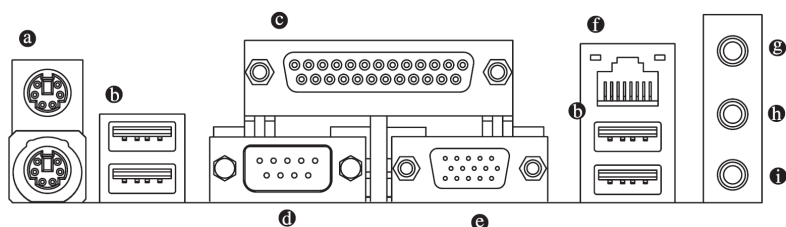
1. 拡張カードのインストールに先立ち、関連した指示説明をお読みください。
2. コンピュータからケースカバー、固定用ネジ、スロットブラケットを外します。
3. マザーボードの拡張スロットに拡張カードを確実に差しします。
4. カードの金属接点面がスロットに確実に収まったことを確認してください。
5. スロットブラケットのネジを戻して、拡張カードを固定します。
6. コンピュータのシャーシカバーを戻します。
7. コンピュータの電源をオンにします。必要であれば BIOS セットアップから拡張カード対象の BIOS 設定を行います。
8. オペレーティングシステムから関連のドライバをインストールします。

AGP拡張カードのインストール:



VGA カードの装着/取り外し時には、AGP スロット端の小さい白色の取り外しバーを注意深く引いてください。VGA カードをオンボード AGP スロットにそろえ、スロットに確実に押し込んでください。ご使用になる VGA カードが小さな白いバーによってロックされたことを確認してください。

1-6 I/O 後部パネルの紹介



㉑ PS/2 キーボードおよび PS/2 マウスコネクタ

PS/2 ポートキーボードとマウスを接続するには、マウスを上部ポート(緑色)に、キーボードを下部ポート(紫色)に差し込んでください。

㉒ USB ポート

USB コネクタに USB キーボード、マウス、スキャナー、zip、スピーカーなどを接続する前に、ご使用になるデバイスが標準の USB インタフェースを装備していることをご確認ください。またご使用の OS が USB コントローラをサポートしていることもご確認ください。ご使用の OS が USB コントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに利用可能なパッチやドライバの更新についてお問い合わせください。詳細はご使用の OS やデバイスのベンダーにお問い合わせください。

㉓ パラレルポート

パラレルポートは、プリンタ、スキャナ、および他の周辺装置に接続することができます。

㉔ COMA (シリアルポート)

シリアルベースのマウス、またはデータ処理デバイスに接続します。

㉕ VGA ポート

モニタを VGA ポートに接続します。

㉖ LAN ポート

インターネット接続は、高速イーサネットであり、10/100Mbps のデータ転送速度が提供されます。

㉗ ライン入力

CD-ROM やウォークマンなどはライン入力ジャックに接続できます。

㉘ ライン出力(フロントスピーカー出力)

ステレオスピーカー、イヤホンまたはフロントサラウンドチャンネルをこのコネクタに接続してください。

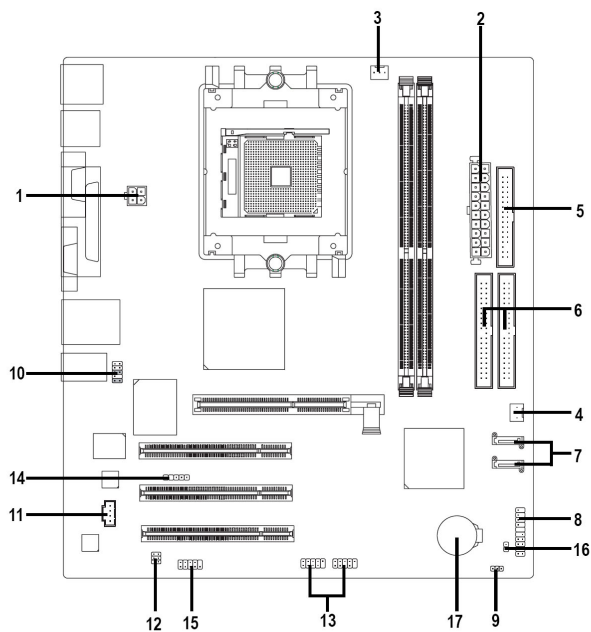
㉙ マイク入力

マイクロホンは MIC 入力ジャックに接続します。



オーディオソフトを使用し、2-/4-/6-チャンネルの音声機能を設定することができます。

1-7 コネクタについて



1) ATX_12V	10) F_AUDIO
2) ATX (Power Connector)	11) CD_IN
3) CPU_FAN	12) SPDIF_IO
4) SYS_FAN	13) F_USB1 / F_USB2
5) FDD	14) IR
6) IDE1 / IDE2	15) COMB
7) SATA0 / SATA1	16) CLR_CMOS
8) F_PANEL	17) BAT
9) PWR_LED	

日本語

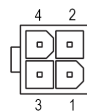
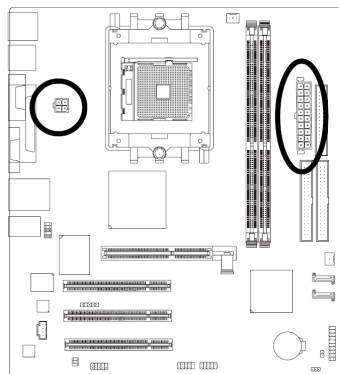
1/2) ATX_12V / ATX (電源コネクタ)

電源コネクタの使用により、安定した十分な電力をマザーボードのすべてのコンポーネントに供給することができます。電源コネクタを接続する前に、すべてのコンポーネントとデバイスが適切に取り付けられていることを確認してください。電源コネクタをマザーボードにしっかりと接続してください。

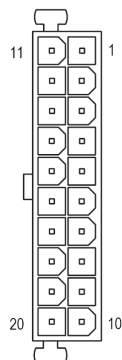
ATX_12V 電源コネクタは、主に CPU に電源を供給します。ATX_12V 電源コネクタが適切に接続されていない場合、システムは作動しません。

注意！

システムの電圧規格に適合するパワーサプライを使用してください。高電力消費(300W 以上)に耐え得る電源をご使用することをお勧めします。必要な電力を提供できないパワーサプライを使用される場合、結果として不安定なシステムまたは起動ができないシステムになります。



ピン番号	定義
1	GND
2	GND
3	+12V
4	+12V



ピン番号	定義
1	3.3V
2	3.3V
3	GND
4	VCC
5	GND
6	VCC
7	GND
8	電源装置
9	5V SB (スタンバイ+5V)
10	+12V
11	3.3V
12	-12V
13	GND
14	PS_ON (ソフトオン/オフ)
15	GND
16	GND
17	GND
18	-5V
19	+5V
20	+5V

3/4) CPU_FAN / SYS_FAN (クーラーファン電源コネクタ)

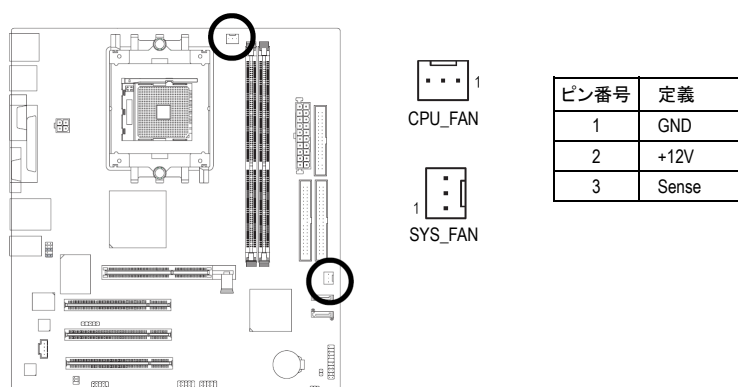
クーラーファン電源コネクタは、3 ピン電源コネクタ経由で+12V 電圧を供給し、接続が誰でも簡単にできるよう設計されています。

ほとんどのクーラーには、色分けされた電源コネクタワイヤが装備されています。赤色電源コネクタワイヤは、正極の接続を示し、+12V 電圧を必要とします。黒色コネクタワイヤは、アース線(GND)です。

システムのオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、クーラーに電源を接続してください。

注意！

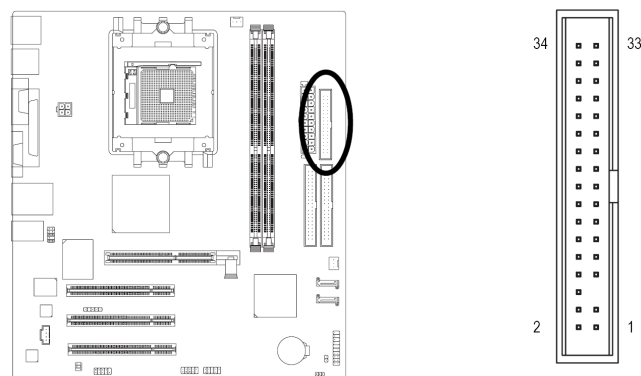
CPU のオーバーヒートや故障を防ぐため、必ず、CPU ファンに電源を接続してください。



5) FDD (FDD コネクタ)

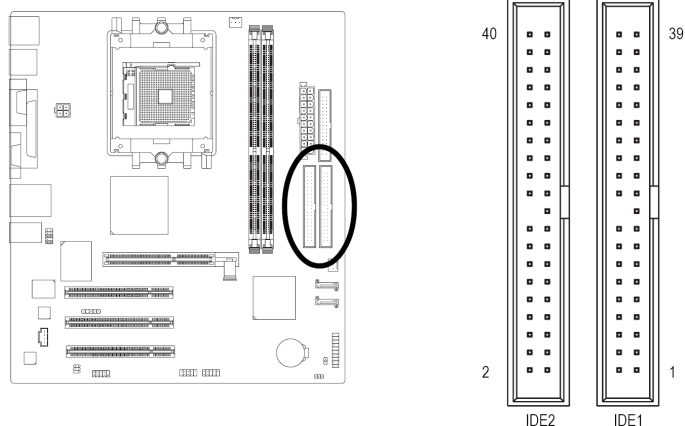
FDD コネクタは、FDD ケーブルの接続に使用し、もう一端は FDD ドライブに接続します。対応する FDD ドライブの種類は以下の通りです：360KB、720KB、1.2MB、1.44MB、および 2.88MB。

FDD ケーブルを取り付ける前に、FDD コネクタのフルプルート設計にご注意ください。



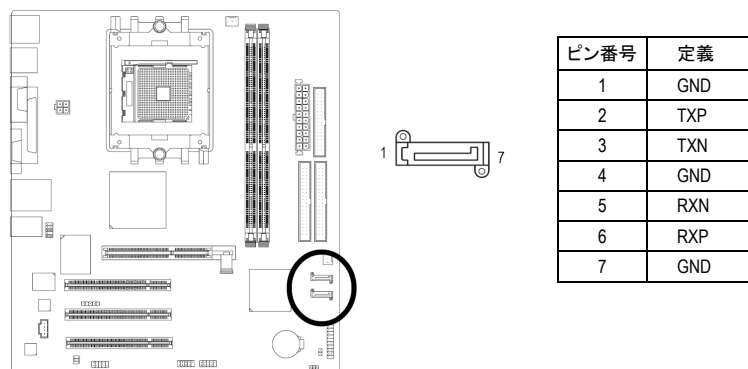
6) IDE1 / IDE2 (IDE コネクタ)

IDE デバイスは IDE コネクタによりコンピュータに接続します。1 つの IDE コネクタには 1 本の IDE ケーブルを接続でき、1 本の IDE ケーブルは 2 台の IDE デバイス(ハードドライブや光学式ドライブ)に接続できます。2 台の IDE デバイスを接続する場合は、一方の IDE デバイスのジャンパをマスターに、もう一方をスレーブに設定します(設定の情報は、IDE デバイスの指示を参照ください)。IDE ケーブルを取り付ける前に、IDE コネクタのフルプルート設計にご注意ください。



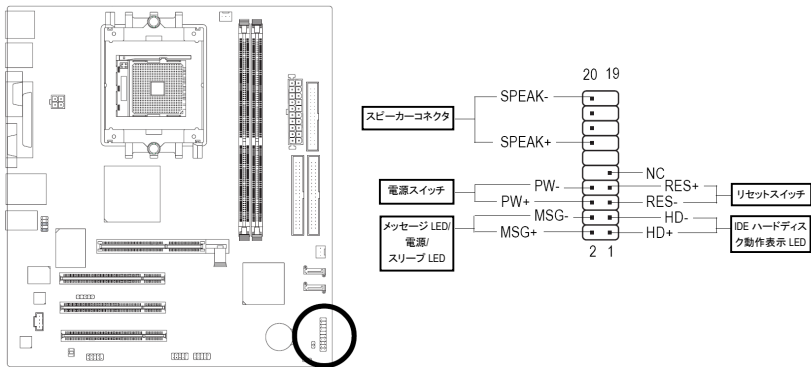
7) SATA0 / SATA1 (シリアル ATA コネクタ)

シリアル ATA は、最大 150MB/秒の転送速度を提供することができます。正しく動作させるため、シリアル ATA の BIOS 設定を参照し、適切なドライバをインストールしてください。



8) F_PANEL (フロントパネルジャンパ)

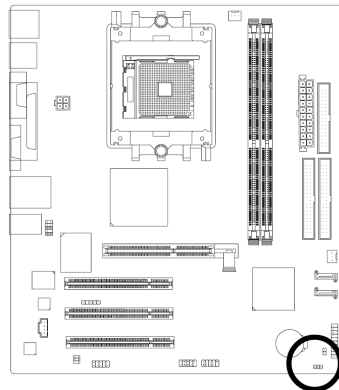
ご使用のケースのフロントパネルにある電源 LED、PC スピーカー、リセットスイッチおよび電源スイッチなどを以下のピン配列にしたがって、F_PANEL に接続します。



HD (IDE ハードディスク動作表示 LED)	ピン 1: LED 正極(+) ピン 2: LED 負極(-)
SPEAK (スピーカーコネクタ)	ピン 1: 電源 ピン 2-ピン 3: NC ピン 4: Data (-)
RES (リセットスイッチ)	オープン: 通常 ショート: ハードウェアシステムのリセット
PW (電源スイッチ)	オープン: 通常 ショート: 電源オン/オフ
MSG (メッセージ LED/電源/スリープ LED)	ピン 1: LED 正極(+) ピン 2: LED 負極(-)
NC	NC

9) PWR_LED

PWR_LED コネクタはシステム電源表示ランプに接続してシステムのオン/オフを表示します。システムがサスペンドモードになると点滅します。

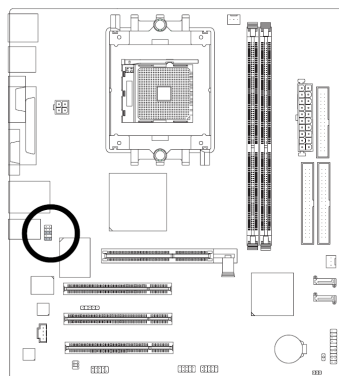


ピン番号	定義
1	MPD+
2	MPD-
3	MPD-

10) F_AUDIO (フロントオーディオパネルコネクタ)

フロントオーディオコネクタを使用する場合は、5-6、9-10 番ジャンパーを外す必要があります。

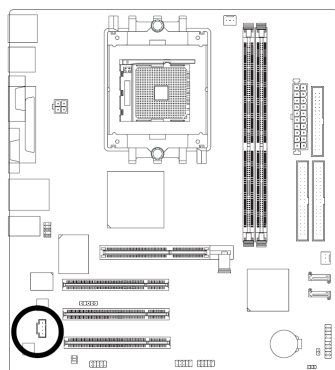
フロントオーディオヘッダーを利用するには、お持ちのシャーシにフロントオーディオコネクタが装備されている必要があります。また、ケーブルのピン配列がフロントオーディオヘッダーのピン配列と同じであることをご確認ください。お買い求めのシャーシがフロントオーディオコネクタを装備しているかどうかは、販売店にお確かめください。サウンド再生にはフロントオーディオコネクタとリアオーディオコネクタが同様に使用可能です。



ピン番号	定義
1	MIC
2	GND
3	MIC_BIAS
4	電源
5	フロントオーディオ(R)
6	リアオーディオ(R)/リターン R
7	NC
8	ピンなし
9	フロントオーディオ(L)
10	リアオーディオ(L)/リターン L

11) CD_IN (CD 入力コネクタ)

CD-ROM または DVD-ROM のオーディオ出力はこのコネクタに接続します。

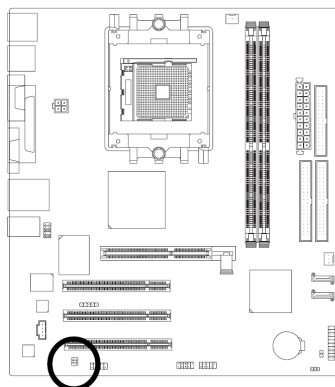


ピン番号	定義
1	CD-L
2	GND
3	GND
4	CD-R

12) SPDIF_IO (SPDIF 入/出力)

SPDIF 出力はデジタルオーディオを外部スピーカーに、AC3 圧縮データを外部ドルビーデジタルデコーダーに出力できます。この機能はお持ちのステレオ装置がデジタル入力機能を装備している場合のみ使用可能です。SPDIF 入力機能はご使用の装置がデジタル出力機能を装備している場合のみ使用可能です。

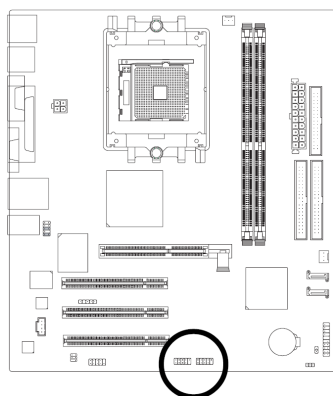
SPDIF_IO コネクタの極性にご注意ください。SPDIF ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備の SPDIF ケーブルのお求めにはお近くの販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源
2	ピンなし
3	SPDIF
4	SPDIF
5	GND
6	GND

13) F_USB1 / F_USB2 (フロント USB コネクタ)

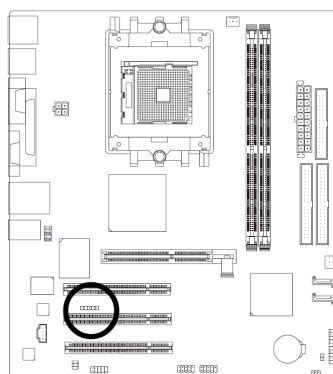
フロント USB コネクタの極性にご注意ください。フロント USB ケーブルの接続にはピン配列をご確認ください。ケーブルとコネクタ間での誤った接続はデバイスの動作不能や故障の原因となります。オプション装備のフロント USB ケーブルのお求めには地元の販売店にお問い合わせください。



ピン番号	定義
1	電源
2	電源
3	USB DX-
4	USB Dy-
5	USB DX+
6	USB Dy+
7	GND
8	GND
9	ピンなし
10	NC

14) IR

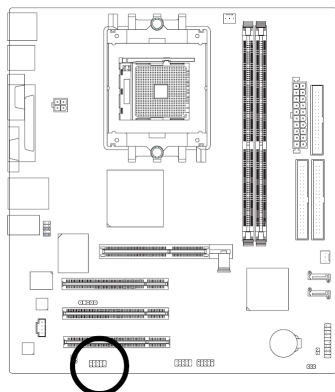
IR を接続する際は、IR コネクタの極性にご注意ください。オプションの IR デバイスの購入に関しては、最寄の販売店にお問合せください。



ピン番号	定義
1	電源
2	ピンなし
3	IR RX
4	GND
5	IR TX

15) COMB (COMB コネクタ)

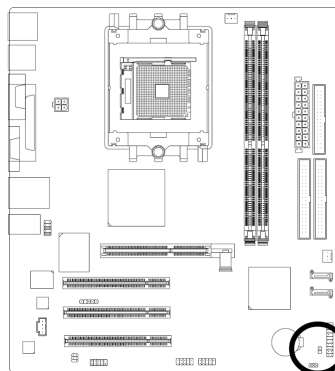
COMBコネクタの極性にご注意ください。COMBケーブルを接続する場合は、ピン配列を確認してください。オプションの COMB ケーブルの購入に関しては、最寄の販売店にお問合せください。



ピン番号	定義
1	NDCDB-
2	NSINB
3	NSOUTB
4	NDTRB-
5	GND
6	NDSRB-
7	NRTSB-
8	NCTSB-
9	NRIB-
10	ピンなし

16) CLR_CMOS (CMOS クリア)

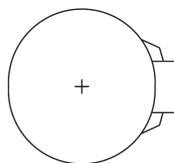
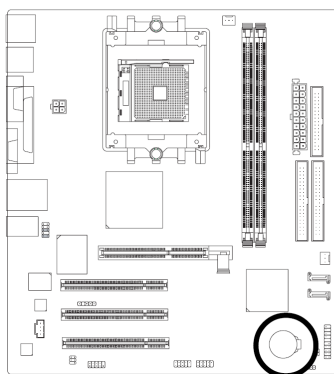
このジャンパーにより、CMOS データをクリアしてデフォルト値に復元できます。CMOS のクリアには一時的に 1-2 番ピンをショートさせます。デフォルトではジャンパーの不適切な使用を防ぐ「シャンター(Shunter)」はありません。



1 オープン: 通常

1 ショート: CMOS クリア

17) BAT (バッテリー)



- ❖ バッテリーの交換を間違えると爆発の危険があります。
- ❖ メーカー推奨と同一のタイプの物と交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリーはメーカーの指示に従って廃棄してください。

CMOS 内容を消去するには...

1. コンピュータをオフにし、電源コードのプラグを外します。
2. 電池を静かに外し、1 分ほど放置します。
(または電池ホルダーの正・負極端子を金属片で 5 秒間ほどショートさせます。)
3. バッテリーを入れなおします。
4. 電源コードのプラグを差し、コンピュータをオンにします。



Contact Us

- **Taiwan (Headquarters)**

GIGA-BYTE TECHNOLOGY CO., LTD.

Address: No.6, Bau Chiang Road, Hsin-Tien,
Taipei 231, Taiwan

TEL: +886-2-8912-4888

FAX: +886-2-8912-4003

Tech. and Non-Tech. Support (Sales/Marketing) :

<http://ggts.gigabyte.com.tw>

WEB address (English): <http://www.gigabyte.com.tw>

WEB address (Chinese): <http://www.gigabyte.tw>

- **U.S.A.**

G.B.T. INC.

TEL: +1-626-854-9338

FAX: +1-626-854-9339

Tech. Support:

<http://rma.gigabyte-usa.com>

Web address: <http://www.gigabyte.us>

- **Mexico**

G.B.T Inc (USA)

Tel: +1-626-854-9338 x 215 (Soporte de habla hispano)

FAX: +1-626-854-9339

Correo: soporte@gigabyte-usa.com

Tech. Support:

<http://rma.gigabyte-usa.com>

Web address: <http://www.gigabyte-latam.com>

- **Japan**

NIPPON GIGA-BYTE CORPORATION

WEB address : <http://www.gigabyte.co.jp>

- **Singapore**

GIGA-BYTE SINGAPORE PTE. LTD.

WEB address : <http://www.gigabyte.com.sg>

- **China**

NINGBO G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.

WEB address : <http://www.gigabyte.cn>

- **Shanghai**

TEL: +86-21-63410999

FAX: +86-21-63410100

- **Beijing**

TEL: +86-10-62102838

FAX: +86-10-62102848

- **Wuhan**

TEL: +86-27-87851061

FAX: +86-27-87851330

- **GuangZhou**

TEL: +86-20-87540700

FAX: +86-20-87544306 ext. 333

- **Chengdu**

TEL: +86-28-85236930

FAX: +86-28-85256822 ext. 814

- **Xian**

TEL: +86-29-85531943

FAX: +86-29-85539821

- **Shenyang**

TEL: +86-24-83992901

FAX: +86-24-83992909

- **India**

GIGABYTE TECHNOLOGY (INDIA) LIMITED

WEB address : <http://www.gigabyte.in>

- **Australia**

GIGABYTE TECHNOLOGY PTY. LTD.

WEB address : <http://www.gigabyte.com.au>

日本語

- **Germany**

G.B.T. TECHNOLOGY TRADING GMBH

WEB address : <http://www.gigabyte.de>

- **U.K.**

G.B.T. TECH. CO., LTD.

WEB address : <http://www.giga-byte.co.uk>

- **The Netherlands**

GIGA-BYTE TECHNOLOGY B.V.

WEB address : <http://www.giga-byte.nl>

- **France**

GIGABYTE TECHNOLOGY FRANCE

WEB address : <http://www.gigabyte.fr>

- **Italy**

WEB address : <http://www.giga-byte.it>

- **Spain**

GIGA-BYTE SPAIN

WEB address : <http://www.giga-byte.es>

- **Czech Republic**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in CZECH REPUBLIC

WEB address : <http://www.gigabyte.cz>

- **Turkey**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in TURKEY

WEB address : <http://www.gigabyte.com.tr>

- **Russia**

Moscow Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.

WEB address : <http://www.gigabyte.ru>

- **Latvia**

GIGA-BYTE Latvia

WEB address : <http://www.gigabyte.com.lv>

- **Poland**

Office of GIGA-BYTE TECHNOLOGY Co., Ltd. in POLAND

WEB address : <http://www.gigabyte.pl>

- **Ukraine**

WEB address : <http://www.gigabyte.kiev.ua>

- **Romania**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in Romania

WEB address : <http://www.gigabyte.com.ro>

- **Serbia & Montenegro**

Representative Office Of GIGA-BYTE Technology Co., Ltd.
in SERBIA & MONTENEGRO

WEB address : <http://www.gigabyte.co.yu>

- **GIGABYTE Global Service System**



To submit a technical or non-technical (Sales/Marketing) question, please link to :

<http://gts.gigabyte.com.tw>

Then select your language to enter the system.